

日語讀解

吳 侃 編著



吉林大學出版社

日语读解

吴侃 编 著

吉林大学出版社

英语：讲解
吴侃 编著

封面设计：张沐沉

吉林大学出版社出版
(长春市东中华路29号)

吉林省新华书店发行
吉林大学印刷厂印刷

开本：787×1092毫米 1/32

1992年8月第1版

印张：5

1992年8月第1次印刷

字数：110千字

印数：1—1000册

ISBN 7-5601-1237-4/G·152

定价：1.40元

前　　書

本書は、日本語学・日本文学修士コースの大学院生のために編集された、日本語読解力をもっと高めるためのテキストである。

中国人学生諸君が日本語を勉強するときの難関の一つに日本語の正確な理解があるように思われる。初歩の段階（学部学生の時）では、日常会話をはじめ、流暢に日本語を話すなどの実践を授業の基本方針とし、かつ学生も実践中心に勉強し、発音、アクセントその他非常に正確にでき、他国の学生に比べると格段に日本語が上手にしゃべれるようになるが、一方では意外と簡単な文の理解を間違えたりする。書いてある単語がどれも分かるし、文法的にも分かるような気がするのに、文全体の意味とか、作者がこの文を通じて言いたいことなどが分からないのである。なぜそうなるのであろうか

それは一つには、広義のいわゆる「文化」の違いではないかと思う。それぞれの社会の歴史、風土の中で培われてきた諸々の相違もさることながら、なかでも近代化を目指している中国と、近代化を達成し、今や経済大国にのし上がっている日本との間に、いろいろな近代社会の政治、経済、世相、社会問題その他に関する見方が違うのは、当然である一面さえあるように思われる。また日本の事情に疎く、流暢な日本語を操っている割には日本のことを知らな

いと評されることもあるゆえんである。このことが、言葉に反映されると、正確な理解が阻害されることになる。もう一つは、違った国の人々のものの考え方の相違である。同じことについても見方が違うことは、経験的に言っているだけではめずらしいことではないのであり、また好んで使用する表現やそれを用いて表す内容などの「好み」もある。これもそれぞれの「文化」に根ざしたものであることは言うまでもない。

以上のようなことのために、場合によっては、日本人ならほとんど誰でも分かるようなことが中国人の学生に難解であるケースや、日本語専攻の中国人学生にも必要な、日本の大学入試レベルの文章理解がじゅうぶんにはできていないことなど、さまざまなレベルの問題が混在しているのが、日本語読解力である。

本書は、このような日本語読解力をもっと高めるためのテキストである。このテキスト一冊でできることは限られたものであるが、これを一つの手がかりとして、学生諸君が更にそれぞれ自分で勉強していくことを願うものである。

このテキストは次のような構成になっている。(1)本文。なかでは、いわゆる精読中心のものと、多読中心のものに分かれる。(2)設問。文や文章理解を深めるためにもうけたものである。学生があらかじめ予習しておき、教室ではそれに答え、不明なところは互いに討議しながら進めていく、という想定で作ったものである。(3)表現。特に本文中の日本語独特の表現を取り出し、その働きを明らかにした上、練習を通じて学生に身につけさせる。(4)留意語句。各文章より抽出し、正確に日本語で説明し、正しく使うこ

とを要求するものである。(5) 研究。文章全体に対する理解を深めるためのもので、全文章に対する「設問」と考えてもよい。全文主旨のまとめ、段落の分析などを主内容とする。(6) 翻訳の練習。中国語を日本語に翻訳するという形式で、当該課で習った種々の表現を、「実践」という意味において身につけさせるための練習である。

このテキストは、1987年6月に初稿を完成し、使いながら手直しをし、3学年使用した後全面的な修正をして現在の形になったものである。筆者の日本語力及び経験の不足などから、不適當なところもあるかと思われるので、みなさんのご叱正をお願いしたい。

編著者

1992.6

目 次

第一課	南のバイオレンスと二つの 演歌……………	宮迫千鶴 (1)
第二課	日本語の表情……………	板坂元 (7)
第三課	旅について……………	三木清 (20)
第四課	落語・三方一両損 ……	(29)
第五課	装飾ではない装飾について……………	柳宗玄 (41)
第六課	日本の耳……………	小倉朗 (47)
第七課	おそれという感情……………	唐木順三 (59)
第八課	情報化社会にはびこる魔女 狩族……………	熊田禎宣 (72)
第九課	「気」の構造……………	赤塚行雄 (85)
第十課	言葉の未来学……………	入谷敏男 (98)
第十一課	キューポラのある町……………	早船ちよ (110)
第十二課	冬の塔……………	岡部伊都子 (118)
第十三課	自立と挫折の青春像……………	高橋和巳 (125)
第十四課	今日と明日の芸術……………	山崎正和 (137)
付 録	文字力の練習……………	(147)

第一課 南のバイオレンスと 二つの演歌

官迫千鶴

東京で暮らしていると、私の場合、演歌に 1 足元をすく われるということはまずない。しかし奇妙なことに、東京を離れて二度、香港と釜山の街で日本の演歌に足元をすくわれたことがある。最初は香港で耳にとびこんできた千昌夫の「星影のワルツ」、二度目は釜山で聴いたクールファイブの「長崎は今日も雨だった」。どちらも街を離れて空港に向かう帰路のタクシーのなかであり、数日過した旅先への想いをいきなり故国 2 ニッポン の記憶にすりかえさせられる作用があった。

3 とはいえ、香港の「星影のワルツ」と釜山の「長崎は今日も雨だった」はまるで違う条件のもとに耳にとびこんできたものだ。香港のそれはカー・ラジオから流れてきたもので、中国人歌手が広東語で歌っているのを運転手自身が楽しんでいた。しかし釜山の場合は、ホテルに迎えた来

〔設問〕 1 「足元をすくわれる」とはどういうことか、特に本文中での意味は。 2 片仮名で「ニッポン」と表記した狙いとは何か（ヒント 特に漢字と比べると、片仮名は表記上でどんな働きがあるか）。 3 「とはいえ」は逆接に用いられる表現だが、本文中ではどういうこととどういうことの逆接か。

〔留意語句〕 すくう すりかえる

たタクシーの運転手が、われわれの交わす日本語を聞いて道中の車内サービスのつもりで、日本語ぬきの伴奏だけのニッポンの演歌カセットをカー・ステレオにさしこんだのである。釜山の運転手はいわば、ニッポン人であるわれわれに気を使ってくれたのだ。

その気持には痛みいったのだが、八〇年代のニッポン人の一人である私にとっては、釜山で聴くニッポン演歌は 4 しんどかった。もっとも私は演歌のなかでは唯一クールファイブだけを偏愛していて、それは 5 それで構わないのだが、広東語に翻訳された「星影のワルツ」がすでにある種の異文化に変容しているのに対し、日本語ぬきの「長崎は今日も雨だった」は 6 そういっていいなら裸のニッポン文化、しかもギャグ・スターとしての三枚目前川清のイメージが生まれる以前のクールファイブにまといついていたニッポン・マインドがそのまま流れてきたようで、タイム・マシンに乗ったような気がしたのである。

話は余談になるが、ささやかな体験をのべれば、香港と韓国（正確に言うと慶州）の旅であたかも両国の社会構造の今日的差異を象徴するような運転手エピソードに出くわ

〔設問〕 4 演歌を聞くのに、なぜ「しんどい」か（ヒント 文章中に述べられている演歌の特徴やそれを聞く時間や場所との関係から考えよ）。 5 「それ」は何を指すか。 6 「そう」言うとは「どう」言うことか。

〔留意語句〕 ～ぬき 出くわす

〔表現〕 「話は余談になるが」の文章表現上の働きは何か。

した。香港でわれわれは雲助タクシーにまんまとノセられ
通常価格の三倍近い代金をまきあげられた。しかしその雲
助運転手は実に明るく、口笛を吹きながらニッポン人を騙
すといった風で、やられたとわかって怒る気になれなか
った。なにしろ炎天下をクーラーなしのボロ車で走り抜け
るのである。もちろん香港が異常に高度資本主義の自由競
争都市であることを認識していないニッポン人がかような
目にあうと、怒り狂うか恐れあまりホテルに閉じこもっ
てしまうだろう。

一方、慶州での出来事は次のようなことだ。古都めぐり
のためチャーターしたタクシーをおちこちに走らせ、われ
われ旅の仲間は韓国の秋を愉しんでいた。運転手にはほん
のわずかの英語しか通じない。「車内では身勝手な日韓比
較文化論がとびかう。何時間その車に乗ったろうか。これ
が最後の観光すべき寺社というところで、運転手が交替し
た。彼はどうしても時間がとれないので別の車に乗り換え
てほしいと、新しい運転手を紹介した。新しい車に荷物を
残し、最後の寺社見物を終えてその車に乗りこみ、車内に
置いていた観光ガイドブックの慶州の頁のところをひらく
と、別れの名残のように数枚の色あざやかな紅葉の落葉が
そっとはさんであったのである。われわれニッポン人が、

〔設問〕 7 この文では、暗に日本人のある悪いことを言
っていると理解されるが、それは何か（ヒント そばに
いる運転手には日本語が通じないことと、「身勝手」の
意味を考えよ）。

〔留意語句〕 雲助 まんま なにしろ かような

そのデリケートな運転手の心やさしさに、一挙にセンチメンタルになったのはいうまでもない。

しかし、にもかかわらず、われわれ一行の口からは、その後もう一度釜山に行こうという話がでない。騙されたりボラれたり、時には明らかなニッポン人差別の眼差しに出くわしたりするのに、また香港へ行こうという話はよく出る。その理由のひとつは、韓国とりわけ釜山のような地方都市にしみついている 8時代のせつなさにある。しかもそのせつなさはわれわれニッポン人のつい昨日の姿に似ている。それはギャグ抜きのクールファイブがあきもせず歌いつづけているあのせつなさだ。そしてあのせつなさは、ある種の性善説といっていいか、別の言葉で言えば「信じて裏切られる」虚しさや強固な制度ゆえにはぐれていく男と女の情愛から生れるブルースである。さらにいえば、共同幻想として信じるものがあつた時代のせつなさなのだ。

もちろん、今日のニッポンにおいてそのようなものが微塵もなく消えさつたというのではない。あのせつなさを歌いつづけていた前川清がギャグスターとして変身した頃か

〔設問〕 8「時代のせつなさ」とはどういうことか、35字以内で答えよ（ヒント 筆者の言う、その時代に見られた特徴は何か。それから「せつない」はどういう意味か）。

〔留意語句〕 ぼる しみつく せつない はぐれる
共同幻想

〔表現〕 「～とっていいか」、「もちろん～というのではない」の文章表現上の働きは何か。

ら、ニッポンは急成長した高度資本主義社会にふさわしい不信の哲学ともいうべきものを増殖させ始めた。それは裏を返せば性善説にのっとり戦後民主主義の倫理が経済的プラグマティズムにモラル・ジャックされはじめたことであり、「あのせつなさ」が古い心情のメディアに転落しはじめたことでもある。もっともこれは、高度資本主義のメッカ東京に暮している人間により強く顕在化する一種のビョーキ的感覚かもしれない。

しかし、「あのせつなさ」に足元をすくわれると、高度資本主義の大波を突き破って向う側に脱出することができない。われわれが香港で発見するのは実は、脱出のテクネなのだ。高度資本主義がわれわれにおしつけてくる不信の哲学を、脱出の哲学に反転させるためのヴァイタルなパワー、それはこれから高度資本主義に向って躍進しようとしている韓国では学べない。先人の知恵は先人からしか学べない。この学習方法は、ビョーキをより近未来的ビョーキを体験することによって、ビョーキに対する根源的な抵抗力をつけようといういささか荒っぽい対症療法でもある。

もっともいまのべたことは、われわれが香港に行きたがる理由のすべてではない。そんなコンセプチュアルな理由をあっけなくつき崩す都市、それが香港であり、香港が持っている「南のバイオレンス」の魅力なのである。高度資本主義のハイパープラグマティズムは人間を冷えさせる。

〔留意語句〕 モラル・ジャック テクネ コンセプチュアル あっけない ハイパー

〔表現〕 「～ともいうべき」の文章表現上の働きは何か

なにしろ魂にも定価札がつくほどに。にもかかわらず香港という都市が呆れかえるほどに野放図にプラグマティックでありながら、ビョーキのニッポン人の魂に活力を与えてくれるのは、その都市が南に位置するという⁹地理上の特権的幸福を持っているためだろう。欲望が皮膚を破って路上でむせかえている、南ならではのバロックな美学!

「群像」1986年2月号

〔研究〕

全文の主旨を、80字以内でまとめよ。

〔翻訳の練習〕

1、喝酒只要不过量，或许也没有什么害处。但如果喝得过多，可能会因之铸成大错。

2、对于因失恋而心灰意冷、痛苦欲绝的她，这个消息是过分的残酷了。

3、这次算被他给巧妙地欺骗了。

4、为了赶上集合时间，连早饭都没吃。可是，因为过分拥挤，很快就跟同伴失散了。

5、一连几天都绞尽脑汁考虑这件事，可是，因为对方过分简单地就答应了，反倒感到太没劲了。

〔設問〕 9「地理上の特権的幸福」とはどういうことか
45字以内で答えよ（ヒント 南に位置することから見られる香港の特徴は何か。「幸福」は何を指すか）。

〔留意語句〕 むせかえる バロック

第二課 日本語の表情

板 坂 元

生活にしみこむ言葉

ところで、生活原理のようにまでなっている「1 出るところへ出たがらない」傾向は、日本人の言語生活にも広くしみこんでいる。これからその種々相を挙げてみよう。

まず「京都のお茶漬」という言葉。ただし、評判になっている料亭のお茶漬でなく、こちらは言葉の方のお茶漬である。来客があって食事の時間にさしかかったので、客は席を立とうとする。そうすると京都の人は「何もおへんけど、せめてお茶漬でも」と客を引きとめようとする。それでも断って帰ろうとすると、泣くようにお茶漬でよいから食べていってほしいと懇願する。しかたなしに「2 はあ、それでは」と客が御馳走になる覚悟を決めたら、それこそ大変。主人側は、あわてて店屋ものか何かを注文したりして用意をはじめる。そして、あとあとまで、あの人は礼儀

〔設問〕 1 「出るところへ出る」とはどういうことか、それが実際に使われる場合のニュアンスは何か（ヒント：実際に使われる場合を考えよ）。2 「はあ、それでは」の後を補って、文を完全にするとすれば、何を補うか。

〔留意語句〕 種々相 おへん

〔表現〕 「引きとめる」と「引きとめようとする」の違いを説明せよ。

を知らないと客の悪名が残る。客は、どんなことがあっても、「³ いずれまた」とか「そうですか。⁴ せっかくどしたのに……」というて辞去するのが作法なのだ。これが名高い「京都のお茶漬」である。なにしろ、やってもらいたくないことを拜むようにしてたのむのだから、知らないといっかかりやすい。

これなど、知っていなければどうにもならないことだが、知っていてもわけがわからないこともある。何か交渉ごとをしているとき、京、大阪の人から「あの話、考えさせてもらいます」という返事がきたとする。これも考慮中という表面の意味と反対に、断りの返事なのだが、何となく考えてもらって、あとで色よい返事がもらえるかもしれないと期待を持たされる言葉である。東京の人など、あとで返事を催促して、「いや返事は、ずっと前にしました」と言われてカンカンになることもある。何らかの期待を相手に持たせることによって、相手の心を当座の間きずつけないようにする、という配慮から発達した表現なのだろうが、なかなかヤツカイな言葉ではある。もっとも、英語でもレット・ミー・シンク・イット・オーバーという表現があって、婉曲に断るときにはしばしば使われている。また、買物などにいっていろいろと品物を見せてもらったあげく、「⁵ 家

〔設問〕 3 4 「いずれまた」「せっかくどしたのに」の後を補って、文を完全にするとすれば、それぞれ何を補うか。 5 「家に帰って……」の言い方と同種類の中国語の表現をいくつか挙げてみよ。

〔留意語句〕 ひっかかる 当座

に帰って女房と相談しなければならんで……」と言え
ばノーというかわりになる。言いにくい時の心理は程度の差
こそあれ、似たりよったりなのかもしれない。

「前むきに」「善処する」

「6 考えておく」に共通する語として「7 善処する」と
いう表現も挙げておく必要がある。この語、日米繊維交渉の
ときに問題になって国際的にも有名になった。佐藤・ニク
ソン会談で佐藤首相が繊維輸出について「善処する」と答
え、これをアメリカ側は約束したと理解していたところ、
あとで佐藤側は約束したおぼえはないと主張、言った言わ
ぬの議論を調べてみたら、佐藤が「善処する」と言ったの
をニクソン側は約束したと信じていたことがわかった。わ
が首相は、国会なみに「8 前向きの姿勢で」と言ったかど
うかは知らないが、とにかく「善処する」つもりだった。す
なわち「考えておきますわ」と同じく、やるつもりは全く
なかった。おそらく「やってみるだけはやってみますが確
約はできません」くらいの善意は持っていたのであろう。

〔設問〕 6 7 「考えておく」「善処する」の、実際使わ
れる場合のニュアンスは何か、それに類する中国語の表
現を考えてみよ。 8 「前向きの姿勢で」の、実際使わ
れる場合のニュアンスは何か（ヒント 「前」向きだから
現在のことはどうされるか）。

〔留意語句〕 問題になる ～おぼえはない

〔表現〕 「～かどうか知らないが」の文章表現上の働き
は何か、また類似の表現を挙げてみよ。

これが英語にどう訳されたか知らないが、「京都のお茶漬」
的ないきちがいがあったのだ、ということで話は落着いた。

もっとも、会談の内容を詳しく調べた人の話によれば、
ニクソン会談で、⁹ わが榮作首相はたいへんはしゃいだ模
様で、「善処する」以外に、「私は、言ったことは必ず実
行する」といった風な言葉を何回もくりかえしたらしい。
テープでも残っていたら大問題になるところだったのだろ
うが、言った言わぬの水掛け論になるのを避けて、「善処」
の訳語をめぐる誤解という¹⁰ 好意的解釈が公式のものとな
ったのだそう。

それは別として、息子の佐藤信二は、記者から「親父の
政治信念」は、と質問されて「とにかく黒白をつけたがる日
本人の悪いクセを克服して、そうしなかった」点だと答え
ている（『週刊新潮』一九七三年二月十四日号）。黒白を
つけたがらないところが日本人の特色だということは、す
でに本章で詳しく見てきた通りだが、その日本人が黒白を
つけたがるクセを持っていると信じている人間も世の中に
はいるわけである。いや、ことほど左様に佐藤榮作という

〔設問〕 ⁹ 「わが～」は筆者のどんな気持ちがいって
いるか（ヒント そのような首相を持っている場合、ど
んな気持ちになるか）。 ¹⁰ 問題を「善処」の誤訳に
することが、なぜ「好意的解釈」か

〔留意語句〕 水掛け論 そうな 黒白をつける ことほ
ど左様に

〔表現〕 「それは別として」の文章表現上の 働きは何
か、また類似の表現を挙げてみよ。